



伏見板橋 後期

学校評価号

令和7年度、第2回いたはしアンケートの結果をご報告いたします。今年度は、子どもたちの様子をより深く見つめながら、保護者の皆様や教職員が「自分ごと」として子どもたちの成長を支えられるよう、昨年度のアンケート項目を見直しました。保護者の皆様には、ご家庭での教育・子育てを振り返る機会として、教職員は日々の指導を具体的に振り返ることにつながるものとさせていただきます。

児童・保護者・教職員へのアンケート16項目を集計し、「よくできている」「だいたいできている」を合わせて「実現度」として示させていただきます。

<学校教育目標>

夢をもち 未来を創る 子どもの育成
～考え 判断し 実行する子～

<付けたい資質・能力>

自己指導能力

その時、その場でどのような行動をとることが適切であるか自分で判断して行動できる力

自分で調整する力

アンケート結果より

第2回 いたはしアンケート結果									
児童	実現度		保護者	実現度		教職員	実現度		
	第1回	第2回		第1回	第2回		第1回	第2回	
自己決定の場の提供…児童が授業場面等で自分の意見や考えを自由に発表できる機会づくり									
あなたは、興味や関心を持ち、自分から進んで学習に取り組んでいますか。	93%	93%	家庭では、子どもが学ぶことに興味をもてるように声かけをしていますか。	87%	88%	あなたは、児童が主体的に学べるような授業づくりをしていますか。	94%	93%	
あなたは、学習の仕方を自分で見つけたり、選んだりしていますか。	89%	90%				あなたは、児童が自分に合った学習方法を見つけられるよう支援していますか。	83%	87%	
あなたは、自分の考えをみんなに伝えていますか。	82%	77%	家庭では、子どもが自分の思いや考えを伝えやすい雰囲気づくりを心がけていますか。	97%	98%	あなたは、児童が安心して発表できるような雰囲気を作っていますか。	89%	93%	
あなたは、自分の夢をもち、かなうように頑張っていますか。	93%	94%	家庭では、子どもが夢をもち、それに向かって努力できるように励ましていますか。	98%	97%	あなたは、児童が夢をもち、それに向かって努力できるような支援をしていますか。	79%	87%	
共感的な人間関係の育成…児童が生活集団の中で、相互の多様性を認め尊重し合う関係づくり									
あなたは、友達が発表しているとき、うなずくなどしながら話をよく聞いていますか。	96%	95%	家庭では、子どもに人の話をよく聞くことの大切さを伝えていますか。	96%	97%	あなたは、児童が他者の話をよく聞くように促していますか。	100%	100%	
あなたは、友達の意見が自分の意見とちがっていても、最後まで聞いていますか。	96%	96%	家庭では、子どもが友達と意見が違っても、耳を傾けることの大切さを伝えていますか。	92%	95%	あなたは、児童が異なる意見にも耳を傾けられるようにしていますか。	95%	100%	
あなたは、友達と学習するのは、楽しいですか。	97%	97%	家庭では、協働学習(グループやペアで学ぶこと)の大切さについて伝えていますか。	72%	79%	あなたは、児童が協力して学ぶことの楽しさを感じられるようにしていますか。	89%	93%	
あなたは、友達に「ありがとう」や「ごめんね」が言えていますか。	96%	97%	家庭では、子どもが、「ありがとう」や「ごめんね」などの気持ちを自然に言えるようにしていますか。	98%	99%	あなたは、児童が、「ありがとう」や「ごめんね」と素直に言えるような人間関係づくりを支援していますか。	100%	100%	
自己存在感の感受(自己存在感を感受できるような配慮)…児童が自己存在感を実感でき、さらに自己肯定感、有用感を育むことができる配慮									
先生や友達は、あなたのがんばりをほめてくれますか。	92%	93%	家庭では、子どもの努力や良いところを認め、褒めていますか。	99%	99%	あなたは、児童の努力を積極的に認め、褒めていますか。	100%	100%	
あなたは、自分の良いところがわかっていますか。	81%	80%				あなたは、児童が自分の良いところに気付けるような活動を取り入れていますか。	100%	93%	
あなたは、自分のことが好きですか。	82%	77%	家庭では、子どもが自分らしさや大切なことを大事にできるよう、温かく応援していますか。	98%	99%	あなたは、児童が自分自身を肯定的に捉えられるような声かけをしていますか。	83%	100%	
あなたには、大切にしていること(ものや夢)がありますか。	96%	96%				あなたは、児童が大切にしているものや夢を尊重し、支援していますか。	100%	100%	
安全・安心な風土の醸成…児童が学級やHR等で安全かつ安心して学校生活を送れるような風土づくり									
あなたは、学校が楽しいと感じていますか。	91%	96%	家庭では、子どもが学校生活を楽しく感じられるようにサポートしていますか。	99%	99%	あなたは、児童が学校生活を楽しく感じられるようにしていますか。	95%	93%	
あなたは、当番や係の仕事を最後までやりとげていますか。	95%	95%				あなたは、児童が当番や係の仕事を責任をもってやり遂げられるように指導していますか。	100%	100%	
あなたは、あいさつ(おはようございます、さよならなど)をしていますか。	93%	93%	家庭では、子どもがあいさつや規則正しい生活(早寝・早起き・朝ごはん)をできるように意識していますか。	98%	99%	あなたは、児童が日常的にあいさつを交わせるような関係づくりをしていますか。	95%	100%	
あなたは、早寝・早起きをして朝ごはんを食べる習慣はついていますか。	86%	85%				あなたは、児童が早寝・早起き・朝ごはんなどの生活習慣の大切さについて、声かけをしていますか。	72%	87%	

自己決定の場の提供

前期には、児童・保護者ともに高い実現度を示しており、児童が自ら学習に取り組む姿勢や、夢に向かって努力する様子が多く見られました。後期では、そうした姿を土台として、学習の仕方を自分で選んだり、自分なりの考えをもって取り組んだりしようとする意識が、さらに広がってきていることが分かりました。一方で、教職員の自己評価には引き続き課題意識が見られ、児童の主体性をより一層引き出す授業づくりが求められています。今後も、ICTの活用等を取り入れながら、安心して自分の考えを表現できる学習環境を整えていきます。

共感的な人間関係の育成

前期に引き続き、児童・教職員ともに高い実現度を示しており、学校内での人間関係が良好であることがうかがえます。後期では、友達の意見に耳を傾けたり、協力して学ぶことを前向きに捉えたりする姿が、より安定して見られるようになってきました。一方で、保護者の評価にはやや課題も見られることから、今後も家庭との連携を大切にしながら、子どもたちの成長を支えていきたいと考えます。

自己存在感の感受

前期には、保護者・教職員が児童の努力や良いところを認める姿勢が浸透していることが確認されました。後期においても、周囲から認められていると感じている児童は多く、こうした関わりが継続されていることが分かります。一方で、児童自身の自己肯定感に関する項目（「自分のことが好き」「自分の良いところが分かる」など）については、前期同様、実感との間に差が見られます。今後も、児童が自分の成長や存在意義を実感できるよう、日々の声かけや振り返りの機会を大切にしていきます。

安全・安心な風土の醸成

前期に続き、後期においても多くの児童が学校生活を「楽しい」と感じており、安心して過ごせる学校の雰囲気 が保たれていることがうかがえます。あいさつや係活動への取組も概ね良好で、学校生活を自分たちで支えようとする意識が定着してきている様子が見られます。一方で、「生活習慣（早寝・早起き・朝ごはん）」については、前期同様、家庭との連携が重要な課題として挙げられています。今後も、学校からの働きかけと家庭の協力を通して、生活習慣の定着を図っていきます。

家庭でのよい取組やご意見・ご感想 … 保護者記入欄からの抜粋です。

- ・「おはようございます」「いただきます」「ありがとう」など、あいさつや礼儀の言葉を大切に、大人が率先して伝えています。
- ・洗濯物たたみや配膳、料理の手伝いなど、家庭で役割をもたせ、できることを増やす取組を続けています。
- ・家事や身の回りのことについて、子どもが「自分でできること」を意識し、自立につながる役割をもたせています。
- ・寝る前の読み聞かせなど、日常の中で読書に親しむ時間を大切にしています。
- ・図書館に一緒に行ったり、学級文庫をきっかけに本を選んだりするなど、読書できる環境づくりを心がけています。
- ・興味をもったことを本で調べたり、クイズやゲーム形式で学んだりするなど、家庭学習を楽しめる工夫をしています。
- ・時計やタイマー、タイムスケジュールを活用し、時間を意識して行動できるよう声かけをしています。
- ・早寝・早起き・朝ごはんなど、生活リズムを整えることを意識し、できる範囲で継続しています。
- ・食事の時間や就寝前などに、学校での出来事を話す時間を大切に、親子の会話を深めています。
- ・防犯・防災・交通安全について話題にするなど、安全に関する意識を家庭でも高めています

保護者の皆様の声から

後期のアンケートでは、家庭での取組の様子とともに、学校への温かいご意見を多くいただきました。あいさつや読書、生活習慣などについて、家庭でも大切にしながら取り組み、学校と一緒に考えていきたいという思いが伝わってきました。今後も、家庭と学校が思いを共有しながら、子どもたちの成長を支えてまいります。